

しないまま腐った時期が3年間ありました(笑)。
ようやく形になったのが2年くらい前です。

徳竹 腐ってた時期(笑)。そこから変わるきっかけは？

宮澤 2年前の職場で産業カウンセラーの方に、「やりたいことがあるけれど、仕事ではできないから悩んでいる」と相談したら、「仕事休んじゃえば」と言われて。「そんなことしていいの?」と思ったんですけど、思いきって休んだことがきっかけでした。

想像していたより ナカノ暮らし満喫中

徳竹 どうしてUターンをしようと決めたんですか？

宮澤 地元に戻っている同級生が多かったので、なんとなく戻ろうという感じで、強い思いがあったわけではないです(笑)。結果的には家族がいるから、というのが戻ってきた一番の理由だったと思います。元々は地元は全然面白くない場所だと思っていたところもあって、他の人はどう思っているのかなと、まちづくり系の会合などにも参加してみました。市内にできたシェアスペースを利用してイベントをしているうちに、ちよつとずつ知り合いが増えて「一緒に何かやろう」と声をかけてもらったり。気づ

るのがすごくいいな、と思いました。

堀川 私もシヨンシヨン祭りやひな市に毎年職場で参加しています。風習や行事を継承し、祭りや消防団を楽しんでる人が多いところが、中野市のすごいところだと思います。あと、中野市の農家さんは働きの人が多くて、おいしい果物がすぐに手に入るところも。

みんなのやりたいことを集めて 地域の魅力をつくろう！

徳竹 堀川さんは信州なかの音楽祭実行委員もやっていますが、きっかけは？

堀川 信州なかの音楽祭のバンドコンテストを担当しています。市内でライブができる場所がなくなってしまったので、アマチュアバンドの方や高校生、若い世代が演奏できる場所をつくろう、というところが始まりです。「大人の文化祭」として高校跡地を活用する企画があったのですが、施設が使用できないことがわかって、断念しかけたこともありました。信州なかの音楽祭の「コマ」として実現できたバンドコンテストは、やっと2年目なので、これからも続けていければと思っています。中野市には音楽系のイベントがたくさんあるので、それをうまくまとめて「音楽のまち」というところをもっとアピールできたら、とも思いました。

Small Talk ナカノの暮らし

まひろ
佐藤 真裕さん

profile

1998年生まれ。中町在住。立志館高校を卒業後、市内のカメラメーカーに就職、製造を担当。趣味はジムで身体を鍛えたり、走ること。ラーメンを食べること。



「宝物は鍛えた身体です」
[男]



あすか
徳竹 ますかさん

profile

1994年生まれ。東吉田在住。大学は松本市で、就職を機にUターン。中野市役所勤務。趣味はイラストを描くこと。好きな食べ物にはインマスカット。



「宝物は姉。中学の妹。一番大切な存在です」
[女]



「宝物はサックス。バンド活動がライフワーク」

つよし
堀川 毅さん

profile

1982年生まれ。西条在住。大学で三重県鈴鹿市、京都市に暮らし、中野市の病院へ。臨床工学技師。好きなリングは「紅玉」。



「宝物は最近作った船」

かえで
宮澤 楓さん

profile

1988年生まれ。七瀬在住。富山県の大学を卒業後Uターン。バイトをしつつ「アートあそび屋」として親子向けワークショップを行う。ポタンコンショウとシメジが好物。

いたら自分の活動の幅も広がっていて、いまは面白い人がいっぱいいるっていうのが、中野のいいところだと思っています。

佐藤 僕も、高2のときの職場体験で選んだ会社がたまたま中野市だっただけなのですが、いまは中野市でよかったです、と思います。たまに残業や休日出勤もありますが、帰宅時間がちゃんとしてますし、家も近い。会社全体でパーベキユをやったり、シヨンシヨン祭りに出たりというのも、楽しいです。

地区の祭りや消防団は 大人だからこそ楽しめる

徳竹 私は市役所に勤めるまで、自分の住んでいる東吉田のことしか知らなかったんです。東吉田は神社がないので伝統的なお祭りもなくて。他の地区に伝わるお祭りのことなど、中野市についてもっと知りたいなと思うようになりました。

宮澤 実家の長嶺団地も昔ながらのお祭りはなかったんですが、夫の実家がある七瀬では、公会堂で昔のお祭りを復活してやっているのが面白いんです。そのボスの方が「子どもたちが、七瀬にはあいうお祭りがあったよね、と大人になっても覚えていてもらいたい。そのために続けていきたい」と言っていたのが印象的で、そんな思いでお祭りをやっている

徳竹 宮澤さんは、イベントに出店する際に意識していることってありますか？

宮澤 単純に自分がやってみたいと思つたものを選んでいきます。秋に七瀬のお祭りややったときは、光るランタンを作りました。自分自身がいまも子どもで(笑)、好きなことをやってるって感じです。工作に使う材料は、長野なので山で採れるものを使いたいんです。文化公園に散歩がてら行ってトングリやマツボックリを拾ったりします。こっちだとありきたりですが、山がない地域の方にとっては「こんなのあるの?」って思っらしいです。

佐藤 中野市は景色も空気もいいし、マラソンやロードレースの練習にもいい環境です。最近冬はスキーをいっぱい滑りたいと思うようになりました。リフトが安くて、ナイターも行きやすいし、山が近いっていいですね。あとは、陸上ができる運動公園があったらいいな、と思います。スポーツが好きな人が集まる場所になるかな、と。

今日は皆さんの話を聞いて、地元を離れてしまった友だちが戻ってきたら楽しいだらうな、と思いました。

徳竹 大学でこれから市外に出る高校生や、市外に進学・就職している方たちに、Uターンするのも面白いよ、ということをもっと発信したいと思いました。貴重なお話をありがとうございました。